

応募者を
増やすには！！

求人票を作るコツ

Vol.6

～オンライン化で応募者の幅を広げよう！～

働き方、面接方法、応募方法等をオンライン化することにより、応募者の幅を広げることができます。

在宅勤務(テレワーク)

通勤時間がなくなる、育児・介護と両立しやすい等の理由から、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方である在宅勤務を希望する求職者が多くいます。「通勤時間が長いから」「転居が必要になるから」等の理由で応募を諦めていた求職者も、在宅勤務が可能であれば、応募する可能性があります。

在宅勤務として募集している求人ではないものの、事務、システムエンジニア、プログラマー、Webデザイナー等在宅勤務が可能な求人のうち、求職者の希望等により在宅勤務も選択可能であれば、「職種」「仕事内容」又は「求人に関する特記事項」に『在宅勤務可(テレワーク可)』と記載しましょう。応募が増える可能性が高まります。

オンライン面接

面接のために移動時間と交通費が必要になるのは、求職者にとって負担となります。特に、居住地が遠方の場合や面接が2回、3回となる場合は尚更です。

また、5社、10社等複数社との面接をするとすると、多大な移動時間と交通費が必要となります。しかし、面接がオンラインになれば、負担がなくなります。

上記の理由等により、オンライン面接を希望する求職者が増加しています。対面での面接だけでなく、オンライン面接も選択可能であれば選考に関する特記事項等にその旨について記載しましょう。応募可能性が高まります。

Eメールによる応募書類送付



応募書類の送付方法が「郵送」のみの場合、求職者は封筒や切手等の費用負担が生じます。しかし、Eメールでの送付が可能であれば、インターネット環境により基本的に費用負担がなくなります。

上記の理由等により、Eメールでの応募書類の送付を希望する求職者が増加しています。応募書類の送付方法がEメールの応募が可能であれば、応募可能性を高めるために「Eメール」での送付方法も選択しましょう。

なお、インターネット環境がない等によりEメールでの送付ができない求職者もいるため、応募書類の送付方法は、「Eメール」「郵送」等多様な方法から求職者が選択できるようにしましょう。このことも応募可能性を高めるための一つです。

オンライン自主応募

在職者等ハローワークが開庁している時間に行けない求職者や自主的に求職活動をしている求職者も多いことから、オンライン自主応募を「可」とすることにより、応募の可能性が高まります。

また、オンライン自主応募を「可」とした場合は、応募書類の送付方法に「求職者マイページ」を追加しましょう。

特に、建設・警備・運輸・医療・福祉等の人手不足職種の求人等応募者が少ないと見込まれる求人については、積極的に活用しましょう。

なお、オンライン自主応募可にするためには、求人者マイページへの登録及び注意事項を確認する必要があります。